



写真55 H34号住居址生活面。柱痕の内側に石を置いている。床面は叩きの床面が大半で、非常に堅く締まっていた。北の両隅に壊れた土器や焼土等を含む土坑があった。(東より)

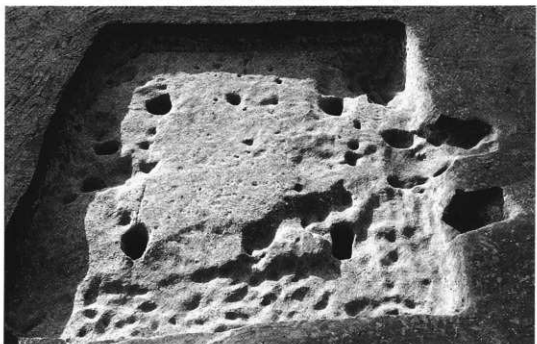


写真56 掘り方を出したところ。柱穴は大きくなり、東側は窪んだ。(東より)



写真57 H34号住居址カマド。天井部はなく煙道と右袖の一部が残っていた。煙道上部には壺が利用されていた。(南より)



写真58 カマドの掘り方。袖の下、肩にあたる地点にピットを設けている。(南より)

第2節 掘立柱建物址

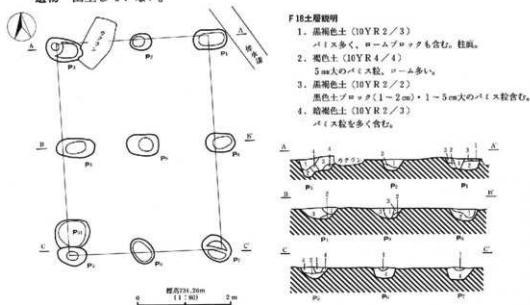
1) F18号掘立柱建物址

遺構 (第50図、写真59)

調査区中央、R ㊦ー7グリットにある。H24住 (9世紀後半)・D14土坑を切っている。

2×2間の総柱式である。桁行き4.6m梁行き3.2mでN-93°-Wを指す南北棟である。柱総本数9本。ピットは長楕円形を呈し、規模は長径80cm短径40cm深さ22~30cmを測る。覆土は柱痕が黒褐色土が入り、褐色土・暗褐色・黒褐色土で柱を埋めている。

遺物 出土していない。



第50図 F18号掘立柱建物址実測図



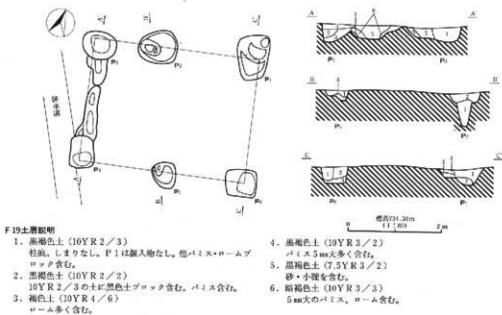
写真59
F18号掘立柱建物址
(東より)

2) F19号掘立柱建物址

遺構 (第51図、写真60)

調査区中央、Rえ-6グリットにある。H25号住(10世紀前半)を切っている。2×1間の側柱式である。東のP3とP4の間は溝持ちになっている。桁行き3.5m梁行き2.6m、柱の総本数6本でN-18'-Wを指す東西棟である。ピットの形は円形ないし隅丸方形で、径60cm深さ36~72cmを測る。柱痕に黒褐色土が入り込み、褐色土と黒褐色土が埋め土である。

遺物 破片でP3より土師器の内面ミガキ黒色処理の椀、須恵器の粗い砂粒を含む軟質杯がある。



第51図 F19号掘立柱建物址実測図

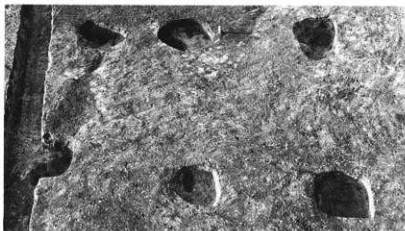
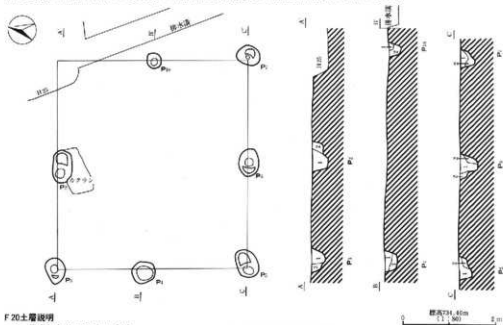


写真60
F19号掘立柱建物址
(南より)

3) F20号掘立柱建物址

遺構 (第52図、写真61) 調査区中央、Rえー6グリットにある。H25住 (10世紀前半) に切られ、北東のピットはない。2×2の側柱式である。桁行き4.6m梁行き4.0mを測る東西棟で、N-9'-Wを指す。柱の総本数は北東ピットがないため7本である。ピットの規模は長径60~70cm短径44~40cm深さ29~35cmの円ないしは楕円形である。柱痕は黒褐色土が入り、暗褐色土で柱を埋めている。遺物 柱穴内より底部回転糸切りの須恵器杯底部片と外面にタタキ目のある須恵器の甕形土器胴部片がある。土師器は武蔵甕形土器の胴部小破片がある。



F20土層説明

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1. 黒褐色土 (7.5YR 3/2)
砂、小礫含む。 | 3. 褐色土 (10YR 4/4)
パイス、ローム多い。 |
| 2. 暗褐色土 (10YR 3/3)
5mm大パイス粒、ローム粒を含む。 | |

第52図 F20号掘立柱建物址実測図



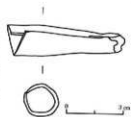
写真61
F20号掘立柱建物址。
(南より)

4) F21号掘立柱建物址

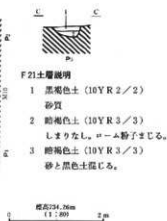
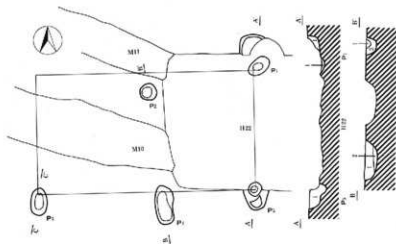
遺構 (第54図、写真62)

調査区西端Rく-7グリットにある。H22・23号住に切られ、北西ピットはM10に切られて検出できなかった。2×1間の側柱式である。桁行き4.6m 梁行き2.5mでN-1'-Wを指す東西棟である。ピットは長径60~80cm、深さ24~30cmの円形ないし楕円形である。覆土は柱痕に黒褐色土が入り込み暗褐色土で柱を埋めていた。住居址と同様な覆土でわかりずらかった。

遺物 (第53図) P2より鉄鐔が出ている。長さ6cm、最大径1.8cmを測る。



第53図 F21号掘立柱建物址出土遺物実測図



第54図 F21号掘立柱建物址実測図

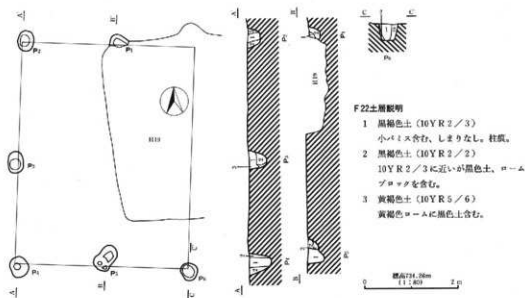


写真62
F21号掘立柱建物址
(南より)

5) F22号掘立柱建物址

遺構 (第55図、写真63)

調査区西側中央、Rか-8グリッドにある。H19住(9世紀後半)に切られる。2×2間の側柱式である。主軸がN-93°-Eを指す南北棟である。桁行き4.7m梁行き3.6m測り、総本数8本の内、北東の2本はH19住に切られてない。ピットは長径60cm短径46cm深さ24~52cmの円形ないし楕円形を呈す。覆土は柱痕に黒褐色土が入り、柱の埋め土はロームブロックを含む黒褐色土である。遺物 土師器の内外面ロクロ横ナデされる杯形土器小破片が出土している。



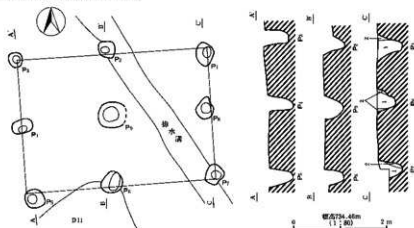
第55図 F22号掘立柱建物址実測図



写真63
F22号掘立柱建物址
(西より)

6) F23・24号掘立柱建物址

遺構 (第56・57図、写真64)

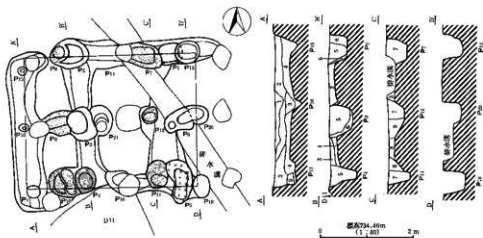


F23土層説明

1 黒褐色土 (10YR 2/3)
砂礫層。

2 黒褐色土 (10YR 3/1)
黒色土を含む砂礫層。

第56図 F23号掘立柱建物址実測図



F24土層説明

1 極暗褐色土 (7.5YR 2/3)
砂礫層。

2 黒褐色土 (10YR 2/2)
砂礫層。

3 暗褐色土 (7.5YR 3/3)
砂礫層。

4 黒褐色土 (7.5YR 3/1)
地山の黒褐色土 (10YR 2/1) の土が砂に混じる。

5 黒褐色土 (7.5YR 3/1)
砂礫層。

6 黒褐色土 (7.5YR 2/2)
砂礫層。

7 黒褐色土 (7.5YR 3/2)
砂礫層。

8 黒褐色土 (7.5YR 3/1)
黒色土を含む。

9 黄褐色土 (10YR 5/6)
= --A₀

第57図 F24号掘立柱建物址実測図

F23・24号掘立柱建物址は調査区西側中央北Rく-5グリッドにあり、同地点で重複していたため、切り合いをつかめずに調査した。最終的に、F23を抽出し、F24はさらに重複しているが、分けきれないため同時に図化した。この地点は谷地で周囲より低かったのか、砂層とその下層に黒褐色土が堆積している。遺構覆土も黒褐色土ないしは砂礫質土で遺構の検出が非常に難しかった。排水溝とD11土坑に切られている。

F23号掘立柱建物址は3間×2間の総柱式である。桁行き4.0m梁行き2.8mの東西棟で、N-5°-Eを指す。ピットの規模は32~48cm深さ44~52cmを測り、円形を呈する。覆土は砂礫質の黒褐色土である。

遺物 出土していない。

F24号掘立柱建物址は3×2間の総柱式で溝持ちである。桁行き3.6m梁行き2.8m、柱の総本数9本、F31号掘立柱建物址と同じ向きで、柱穴の規模形態が同様である。この他にP1~P12までの2×1間の南北棟の掘立柱建物址があるようだが新旧関係も正確とは言い切れないので、別番として出すことをやめた。

遺物 出土していない。

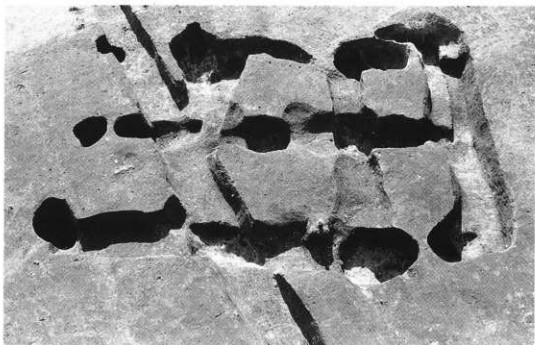
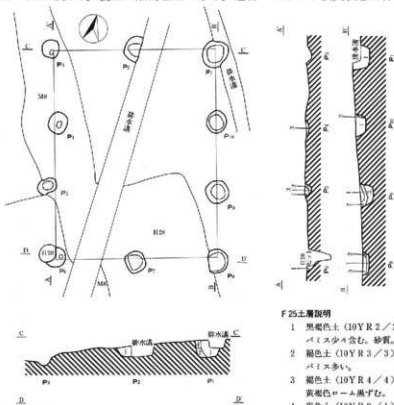


写真64 F23・24号掘立柱建物址（北より）

7) F25号掘立柱建物址

遺構 (第58図、写真65) 調査区中央南Rあー3グリットにあり、H28住(9世紀後半)に切られ、M8と排水溝にも上部を切られる。残りは良くない。3×2間の側柱式である。桁行き4.4m梁行き3.4mのN-104-Wを指す南北棟である。柱の総木数10本で、円形を呈し、規模は30~42cm深さ28~40cmを測る。覆土は黒褐色土である。**遺物** P9より軟質須恵器杯片が出ている。



F25土層説明

- 1 黒褐色土 (10YR 2/2)
バミス少々含む、砂質。
- 2 褐色土 (10YR 3/3)
バミス多い。
- 3 褐色土 (10YR 4/4)
黄褐色を呈し黒ずむ。
- 4 黒色土 (10YR 2/1)
黒色強。

第58図 F25号掘立柱建物址実測図

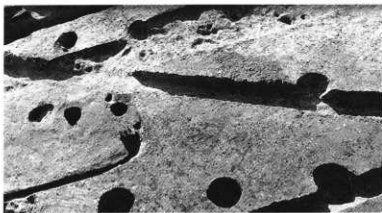


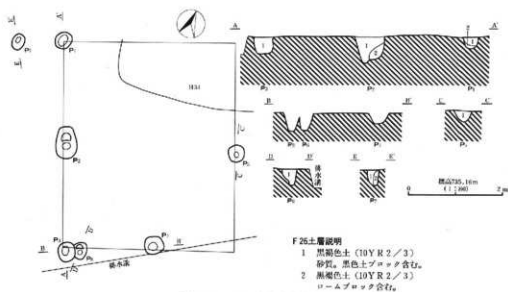
写真65
F25号掘立柱建物址。
(東より)

8) F26号掘立柱建物址

遺構 (第59図、写真66)

調査区東中央、Kこ-10グリットにある。H34住(9世紀後半)と排水溝に切られる。2×2間の側柱式である。桁行き4.4m梁行き3.6mのN-115°-Wを指す南北棟である。総本数8本の内6本あり、北東はH34住に、南東は排水溝に壊されてない。柱穴は径36cm前後の円形で深さ30cmあるが、P2は楕円形で長径68cm深さ56cmを測る。柱痕には黒褐色土が入っている。

遺物 出土していない。



第59図 F26号掘立柱建物址実測図

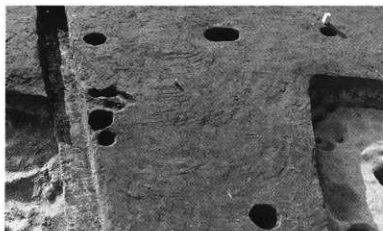


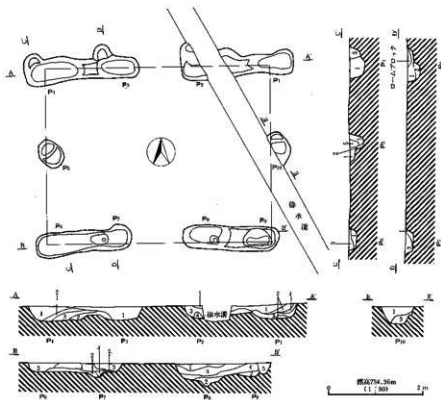
写真66
F26号掘立柱建物址
(東より)

9) F27号掘立柱建物址

遺構 (第60図、写真67)

調査区中央北、Rか-3グリットにある。排水溝に切れられ、F28号掘立柱建物址を切っている。F27・F28・F29はほぼ同地点にあり、3棟の中でF27が最も新しい棟である。3×2間の側柱式である。P1・P2、P3・P4、P6・P7、P8・P9が溝で連続する溝持ちの掘立柱建物址である。桁行き4.8m梁行き3.7m、N-2'-Wを指す東西棟である。溝は長さ340~300cm幅48~60cm深さ20~48cmを測る。柱痕の明確なものはない。

遺物 出土していない。



F27土層説明

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1 黒褐色土 (10YR 2/3)
ロームブロックを含む。 | 4 褐色土 (10YR 4/4)
ロームブロックを含む。 |
| 2 黄褐色土 (10YR 5/6)
ロームブロックに黒色土混じる。 | 5 黒褐色土 (10YR 3/2)
縦密混入物なし。 |
| 3 黒褐色土 (10YR 2/2)
ところどころに、ロームブロックを含む。 | |

第60図 F27号掘立柱建物址実測図

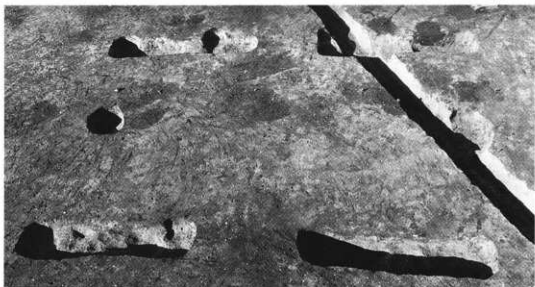


写真67 F27号掘立柱建物址（南より）

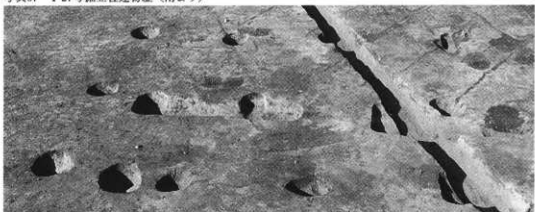


写真68 F28号掘立柱建物址（南より）



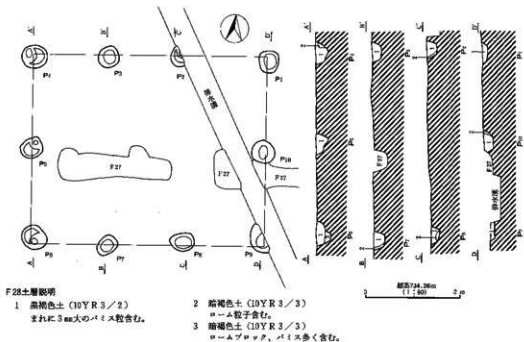
写真69 F29号掘立柱建物址（南より）

10) F28号掘立柱建物址

遺構 (第61図、写真68)

調査区中央北Rか-3グリットにあり、F27・F29号掘立柱建物址とほぼ同位置にある。F27号掘立柱建物址にP10が切られる。3×2間の側柱式である。桁行き4.9m梁行き4.0mの東西棟でN-5°-Wを指す。柱の総本数10本、ビットの形は円形を呈し、径50cm深さ20~30cmを測る。柱穴の覆土は黒褐色土である。

遺物 P10より須恵器の広口甕の底部片と土師器の武蔵甕胴部破片が出土している。



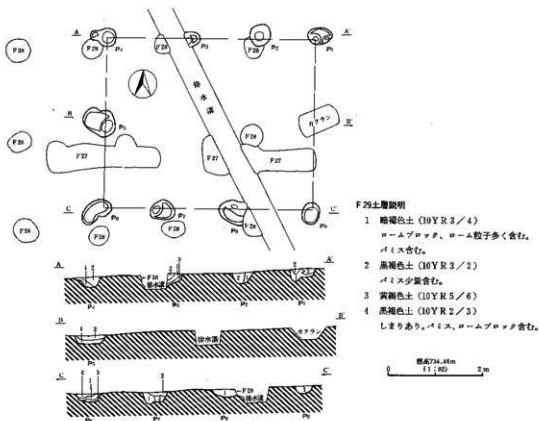
第61図 F28号掘立柱建物址実測図

11) F29号掘立柱建物址

遺構 (第62図、写真69)

調査区中央北Rお-3グリットにあり、F27・F28号掘立柱建物址とほぼ同位置にあり、F28に切られる。また排水溝と攪乱によりP3・P8の一部とP10は全く壊される。

F29は3×2間の側柱式である。桁行き4.4m梁行き3.6mの東西棟でN-2°-Wを指す。柱の総本数は10であるがP10は攪乱により壊されてなく9本残っていた。ビットは楕円形を呈し、長径46~76cm深さ16~30cmを測る。覆土は暗褐色土主体である。F27・F28・F29号掘立柱建物址の中では本掘立柱建物址がもっとも古い。遺物 出土していない。



第62図 F29号掘立柱建物址実測図

12) F30号掘立柱建物址

遺構 (第31図)

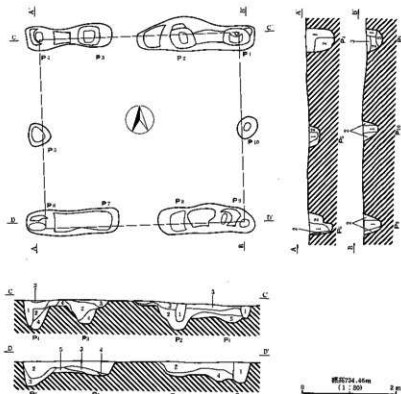
H27号住居址に記載してあるが、H27号住居址の床下にあり、H27号住居址構築の際に上面は覆されている。3×1間の側柱式である。桁行き3.6m梁行き2.3mの南北棟である。

13) F31号掘立柱建物址

遺構 (第63図、写真70)

調査区中央Rネー3グリットにある。F32号掘立柱建物址と重複しており、切っている。3×2間の溝持ちの側柱式である。桁行き4.2m梁行き4.0mの方形の東西棟で、主軸はN-0°で北を指す。柱の総本数は10本でP1・P2、P3・P4、P6・P7、P8・P9と東西方向の2柱穴が連続する。溝は長さ164~252cm深さ28~64cm、単独ピットは48cm深さ32cmを測る。柱痕が良好に認められ、黒褐色土が入り込んでいる。柱穴の埋め土はローム・黒色土のブロックを含む黒褐色土である。

遺物 P4より須恵器長頸壺下部、土師器武藏甕の胴部片、内面ミガキ黒色処理された杯が出土している。P10からは軟質須恵器杯片が出ている。



F31土層説明

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 黒褐色土 (10YR 2/3)
柱痕。溝かまごまかいバミス状含む。 | 4 暗褐色土 (10YR 3/3)
ロームブロック多く含む。 |
| 2 黒褐色土 (10YR 2/3)
ロームブロック含む。黒色土ブロック含む。 | 5 黄褐色土 (10YR 5/6)
黄褐色ロームに黒色土含む。 |
| 3 暗褐色土 (10YR 3/4)
ロームブロック多く含む。 | |

第63図 F31号掘立柱建物址実測図

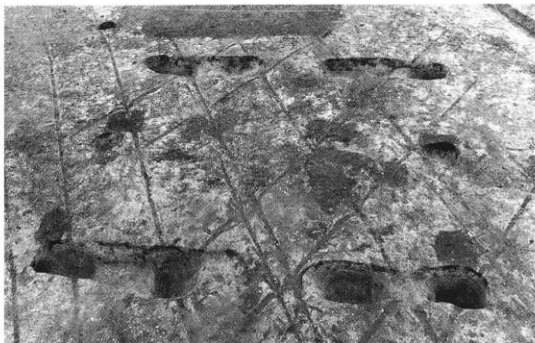


写真70 F31号掘立柱建物址（北より）



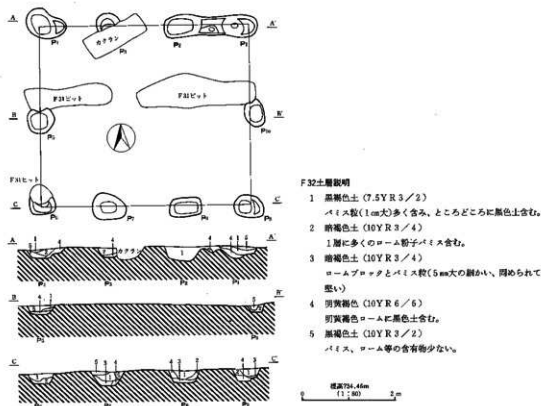
写真71 F32号掘立柱建物址（北より）

14) F32号掘立柱建物址

遺構 (第64図、写真71)

調査区中央Rえー2グリットにある。F31号掘立柱建物址に切られている。3×2間の側柱式である。P1・P2だけ溝持ちになっている。桁行き4.4m梁行き3.8mの東西棟で主軸はN-0'で北を指す。柱穴は楕円形を呈し、長径64~86cm短径40~60cm深さ18~33cmを測る。浅いため柱痕ははっきりしないが、柱の埋め土は暗褐色土であったようだ。

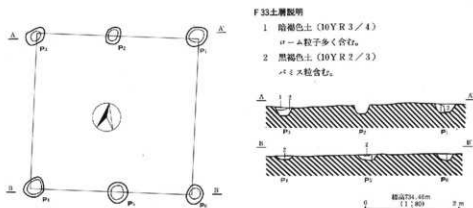
遺物 出土していない。



第64図 F32号掘立柱建物址実測図

15) F33号掘立柱建物址

遺構 (第65図、写真72) 調査区中央Rえー3グリットにある。F32・F33号掘立柱建物址と重なり、F33号掘立柱建物址を切っている。2×1間の側柱式である。桁行き3.4m梁行き3.3mの東西棟で、主軸はN-9'-Wを指す。柱は6本で、円形を呈し、径42cm深さ6.5~13cmを測る。覆土は暗褐色土。遺物 遺物は出土していない。



第65図 F33号掘立柱建物址実測図



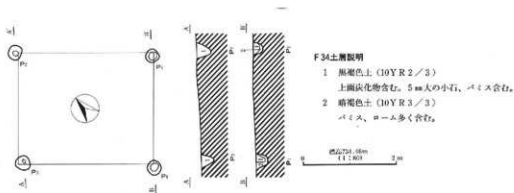
写真72 F33号掘立柱建物址（北より）

16) F34号掘立柱建物址

遺構（第66図、写真73）

調査区中央Rう-4グリッドにある。H25住（10世紀前半）を切る。1×1間である。桁行き2.8m梁行き2.4mで主軸はN-40°-Eを指す。柱穴は4本で円形を呈し、径30cm深さ22-30cmを測る。黒褐色土が柱底に入り込んでいる。

遺物 P3より土師器杯形土器2片が出土している。内面ミガキ黒色処理される。これらは住居址と重なっているビットであるから混入品の可能性もある。



第66図 F34号掘立柱建物址実測図

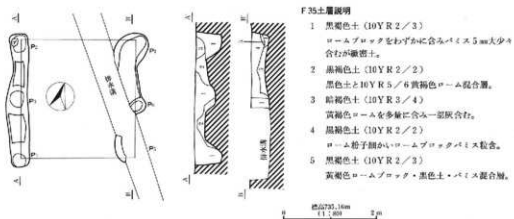


写真73
F34号掘立柱建物址。
(南より)

17) F35号掘立柱建物址

遺構 (第67図、写真74)

調査区東側中央北端のLあ-8グリットにある。排水溝に一部壊される。



第67図 F35号掘立柱建物址実測図

F35号掘立柱建物址は1×1間の溝持ちの側柱式である。桁行き2.5m梁行き2.4mの方形で、N-17-Wを指す。柱穴の本数は6本であるが南東は排水溝に壊されてない。溝は南北に連続し272cm～280cm幅50～70cm深さ36～62cmを測る。黒褐色土が入り込んでおり、埋め土はロームブロックと黒色土の混じった土である。遺物 出土遺物はない。

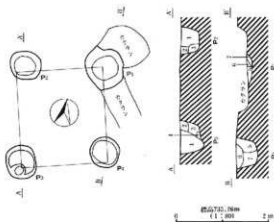


写真74
F35号掘立柱建物址。
(南より)

18) F36号掘立柱建物址

遺構 (第68図、写真75)

調査区東側、Kけ-6グリットにあり、北東のピットは攪乱される。1×1間で、桁行き2.0m梁行き1.8mで主軸はN-17-Wを指す。柱穴は4本で、円形を呈し、径66～90cm深さ28～50cmを測る。黒褐色土が柱痕に入っている。遺物 P3から須忠器壺形土器の肩部に紐が横帯し、つまみの付くものである。



F36土層説明

- 1 黒褐色土 (10YR 2/3)
やや砂質。5mm大のベイス粒含む。
- 2 暗褐色土 (10YR 3/4)
黄褐色ロームブロック、黒色土ブロック含む。
- 3 黒褐色土 (7.5YR 3/2)
黒色土ブロックを含み、ベイス少々含む。
- 4 黒褐色土 (7.5YR 3/2)
3層と同色なれどしまつてかたい。
- 5 黒褐色土 (10YR 3/2)
あまりしまりなし。
- 6 黒褐色土 (10YR 3/2)
ロームブロック、黒色土含む。
- 7 褐色土 (10YR 4/4)
5mm大のベイス、ローム粒子含む。

第68図 F36号掘立柱建物址実測図

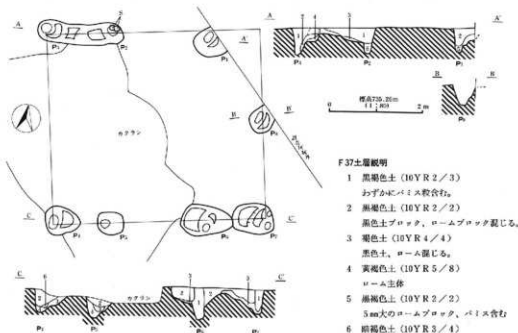


写真75
F36号掘立柱建物址。
(北より)

19) F37号掘立柱建物址

遺構 (第69図、写真76)

調査区北端Kく-3グリットにある。北東は調査区外であり、北東の柱穴は検出できなかった。西南にかけて攪乱が大きく入り、P3とP4の間のピットは填されてない。3×2間の一部が溝持ちになる側柱式である。桁行き4.5m梁行き4.0mの東西棟で、主軸はN-13°-Wを指す。総本数は10本であるが8本が調査できた。楕円形・円形・溝持ちと様々であり、単独ピットは径50~68cm深さ39~71cmを測る。柱痕には黒褐色土が入り、埋め土はロームブロックを混入した土を入れている。遺物 出土していない。



第69図 F37号掘立柱建物址実測図

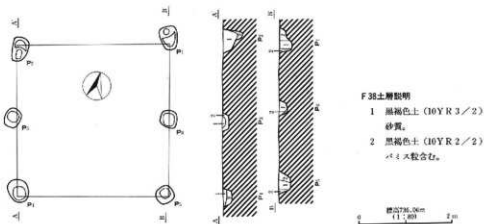


写真76 F37号掘立柱建物址(西より)

20) F38号掘立柱建物址

遺構(第70図、写真77)

F38号掘立柱建物址は調査区東Kく-8グリットにあり、H32号住居址と重複する。H32号住居址が削平されていたため、新旧関係は確かめられなかった。2×1間の側柱式である。桁行き3.2m梁行き3.2mと方形配列の南北棟で、N-15°-Wを指す。柱痕には黒褐色土が入り、柱の埋め土も黒褐色土である。柱穴は円形を呈し、径40cm深さ12~27cmを測る。



第70図 F38号掘立柱建物址実測図



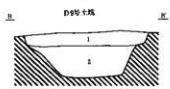
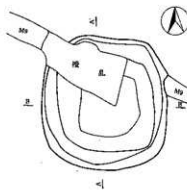
写真77 F38号掘立柱建物址（南より）



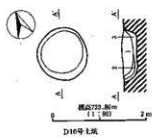
第71図 上久保田向田地区掘立柱建物址分布図

第3節 土坑 (第72・73図、写真78～81)

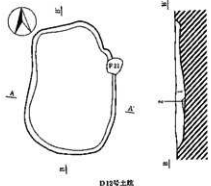
D9号土坑 調査区区端中央、Rけ-10グリットにある。M9によって上面をわずかに、攪乱に底面の一部まで壊される。隅丸方形を呈し、東西2.6m南北2.8m深さ107cmの深い土坑である。中位より上にテラスを持ち、底面は平らである。覆土は黒褐色土が二段階に堆積し、下層の方が黒みが強い。遺物は出土していない。



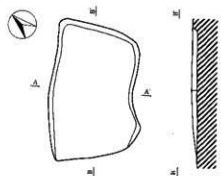
D9土層説明
 1 黒褐色土 (10YR 2/3)
 2 黒褐色土 (10YR 2/2)
 粘性ありバリス5mm-1cm
 大きめに含む。
 標高739.35m (1:80) 2m



D10土層説明
 1 黒褐色土 (10YR 2/3)
 細かい砂粒多く含み数分のため赤茶ける。
 2 黒褐色土 (10YR 2/2)
 小石含む。
 3 黒色土 (10YR 2/1)
 地山の黒色土含み多い小石少々含む。



D12土層説明
 1 黒色土 (10YR 2/1)
 5mm入のバリス粒。細かい含む。少々粘性あり。
 2 黒褐色土 (10YR 2/3)
 コームを含む。1層よりバリス少量。



D11土層説明
 1 黒褐色土 (10YR 2/3)
 黒色のブロックが少量混入し多数の小石が混入する。

第72図 D9～D12号土坑実測図

D10号土坑 調査区南西端Zか-5グリットにある。円形の土坑で、径50cm深さ32cmを測る。底面は平らである。砂質の黒褐色土と黒色土が覆土である。遺物は土師器杯形土器があり、底部は回転糸切り、内外面ロクロ横ナデ調整のものである。

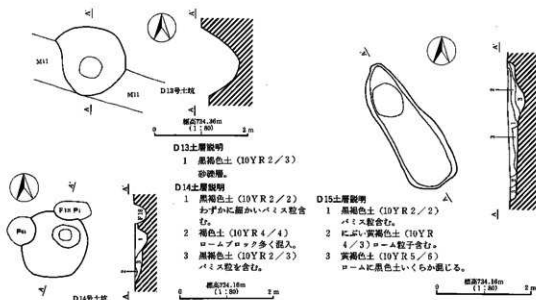
D11号土坑 調査区西中央北のRく-5グリットにある。F23・F24と重複し切っている。不正な隅丸長方形を呈し、東西3m南北1.8mを測る。覆土は小石を含む黒褐色土である。底面は平らである。遺物は軟質須恵器杯片、土師器杯片の内面ミガキ黒色処理のものがある。

D12号土坑 調査区中央Rえ-5グリットにある。F21に切られ、H25住を切っている。不正な隅丸長方形を呈し、南北2.8m東西1.8m深さ20cmを測る。覆土は黒色土であるが、底面が住居並と重なっていたため不明確である。遺物は須恵器広口壺の底部、軟質須恵器杯片、土師器武蔵甕片、内面ミガキ黒色処理された杯片などが約50片と多くあるが2層中の出土であり、H25住の土器と思われる。また「富壽神寶」も底面から出土したがH25住に帰属すると思われる。

D13号土坑 調査区西中央北Rこ-6グリットにある。M11に上面を覆される。円形で径1.5m深さ80cmを測る。断面形U字形で砂礫層が入っていた。遺物は出土していない。

D14号土坑 調査区中央西Rえ-8グリットにある。F18・P30に切られる。P30からは内面にわずかなミガキを施した土師器杯が出土している。円形で径1.4m深さ24cmを測る。黒褐色土が入り、平らな底面の中にピットを持つ。遺物は出土していない。

D15号土坑 調査区中央西Rう-8グリットにある。長楕円形で2.9m×1.1m深さ32cmを測る。覆土は黒褐色土である。遺物は出土していない。



第73図 D13～D15号土坑実測図



写真78 D9号土坑（南より）



写真79 D10号土坑（西より）



写真80
D11号土坑
（南より）



写真81
D12号土坑
（南より）

第4節 溝状遺構

M8号溝状遺構 調査区の中央を南東に流れ、南端で折れて南西に向かう。溝幅は0.6~2.0m、深さ40cmを測る。黒褐色の砂礫層に田の作り土が混入するもので、現在まで用水に使用されていたものである。遺物は多く、報告した物と同様な物と現在のプラスチック製品まである。

M9号溝状遺構 調査区西端にあり、南東から北西に向かう。幅44cm、深さ11cmの浅い溝で砂礫層が入っていた。遺物は軟質須恵器杯片、土師器は厚手の壺胴部片がある。

M10号溝状遺構 調査区西側中央にあり、東から西に向かう。溝幅1.2m深さ50cmを測り、調査区西端でM11と合流する。覆土は砂礫層で、下面是ロームが影響されて、結構深い。遺物は須恵器軟質杯片・壺類の胴部片、土師器の内面ミガキ黒色処理の杯片、高台の付く皿片、土師質に近いロクロ横ナデの杯片などがある。

M11号溝状遺構 幅70cm深さ12cmとM10より小規模。

第5節 ピット

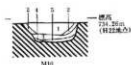
III地区から34個が検出。P15からP25などは関連があろう。またP32はF18に切られ、他に杯片1あり。



第74図 P31出土土器実測図



M9 土層説明
1 黒褐色土 (10YR 2/2) 砂礫層。



M10. 11土層説明
1 黒褐色土 (10YR 2/2) 細かい砂と2cm大の小石を含む。粘性少々。
2 黒色土 (10YR 2/1) 地山の黒色土含む。ローム粒子含む。
3 褐色土 (10YR 4/4) 10YR 5/8 黄褐色ロームと10YR 2/3 黒褐色土をブロックで多く含む。
4 10YR 4/6 褐色土。
5 黄褐色土 (10YR 5/6)



第75図 M9~M11号溝状遺構実測図



写真82 M10・M11号溝状遺構(南より)

第V章 まとめ

竪穴住居址

1、時期・分布

上久保田向Ⅲ地区の竪穴住居址は17棟あり、時期はほぼ3期に分けることができる。

I期	9世紀後半	H18・H19・H21・H22・H24 ・H26・H27・H28・H31・H34……………	10棟
II期	10世紀前半	H20・H25・H29・H30・H32……………	5棟
III期	10世紀後半	H23・H33……………	2棟

I期はⅢ地区の竪穴住居址の6割を占め、この期の中での直接重複関係はないが軸のずれからも同一期ではなく前後がある。H18・H27は床下に旧住居址があり、土器の特徴から時期を狭めて9世紀第四半期とすればそれ以前の竪穴群があることになる。そしてH34にはロクロ甕がないことから、9世紀第三半期と設定できる。しかし10棟全部の時期分けは困難であるので、9世紀後半としておきたい。

竪穴住居址の分布は南に舌状に張り出す台地の縁辺に帯状に通っている。

2、9世紀後半の竪穴住居址の形態規模。(9例中)

カマドが北にある。4本主柱穴が中央にある。(N4中)

H18・H27・H28・H31・H34…………… 5棟

カマドが北にある。4本主柱穴が南北の壁中ないしは片寄る。(N4南北)

H21・H24…………… 2棟

カマドが北にある。2本主柱穴が東西壁中央にある。(N2東西)

H19・H22…………… 2棟

N4中型の住居址はH18の一辺4.8m、他は5m以上の大型の住居址である。N4南北型は一辺3.5m以下の小型で柱穴間は2m前後と大型の住居址と変わらない数値になっており、中央の空間は大規模な竪穴と変わらないものになっている。N2東西型は一辺3.6mの中規模住居址である。

3、10世紀前半の竪穴住居址はH20・H25は規模形態もわかるが、他は掘り込みの浅いもので、プラン・規模がともに不明確な資料が多く、遺物も少ない。H20・H25共にI期の住居址と土器などからは大差がみられないことから、I期と連続すると思われる。

4、10世紀代後半以降のⅢ期の竪穴住居址H23は長方形プランで超大型住居址である。南東に張り出しを持ち、その床下に大きな土坑を持っている。カマド周辺の床は締まっているが全体的に

は軟弱な床であり、遺物が極端に少ないことなどが上げられ、特徴的な住居址である。

5、9世紀後半の竪穴住居址のカマド

(1) カマドの構築方法（7例中）

カマドの構築材として10～20cm大の軽石や安山岩が利用されているが、芯材として所々に入れ込むのではなく、石を積んで粘土を充填しているカマドが目立つ。(H21・H27・H31)

煙道出口に武蔵甕を重ねて煙道とした痕跡がみられた。(H18・H34)

(2) カマドの規模

火床部底面の規模数値が、一定の数値を数える。幅50cm（1例）・60cm（4例）・70cm（2例）、奥行き50cm（3例）・60cm（3例）・70cm（1例）と規格化している

(3) 構築手順

貼り床後にカマドの掘り込みをし、両袖幅と煙道の幅を決めてピットを掘り、石を置き(小ピットのみの場合もある)上部を構築していくようである。(注三石宗一による)

掘立柱建物址

21棟あり、竪穴住居址が台地の周縁に帯状に分布しているのに対し、張り出した台地の中央に群在している。

1、規模

1×1間	F34・F35・F36	3棟
	方形 方形 方形	
2×1間	F19・F21・F33・F38	4棟
	方形 方形	
2×2間	F18・F20・F22・F26	4棟
	総柱 方形	
3×1間	F33	1棟
3×2間	F23・F24・F25・F27・F28・F29	
	総柱 総柱	
	F30・F31・F32・F37	9棟

3間×2間の規模が多い。 方形

2、時期

竪穴住居址との重複関係のあるものは8棟あるが、新旧が紛らわしい場合多く、調査段階のまま記述したが、絶対ではない。土器なども少ないことから時期決定は困難である。F18・F19は住居址（9世紀後半）より新しく9世紀後半以降である。掘立柱建物址間の重複もあり、F23・F24とF27～F29とF31・F32があるが、規模・主軸が同様なことから連続していると思われる。

土坑

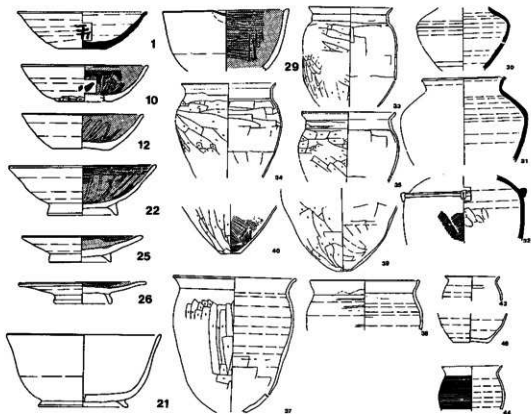
- 1、D9のような大きく深い土坑の用途はなにか？
- 2、D10・D13のような単純円形土坑はなにか？
- 3、D11・D12の広く平らな底面を持つ土坑はなにか？中世の竪穴建物址と似ている。

遺物

佐久地域における平安時代の資料が増えているが、全体的な検討はこの後に調査された区画事業での資料を加えた段階で行うことにする。今回は上久保田向III地区の最も多くの土器が出土しているH31号住居址の土器組成を示し、今後の検討資料として提示したい。

H31実測個体土器組成

須恵器軟質杯（9）須恵器長頸壺（1）須恵器甕（1）須恵器甕（四耳壺）（1）
土師器内面ミガキ黒色処理杯（7）椀（6）皿（5）片口付鉢（1）武蔵甕（5）武蔵小甕（破片）
ロクロ甕（2）ロクロ小甕（5）かき目小甕（1）



第76図 H31号住居址土器組成図（杯類1/4・甕類1/8）

上久保田向遺跡Ⅲ地区住居址一覧表

No	縦 南北・東西・深さ (m)	横 主軸方位	方位	形状	柱 穴	床の状態	覆土・他	出土位置
H18	4.4×4.8×0.6	N-0°	北	方形	主 4 出入口 1 他中央1	堅く締まる。 床下周縁部が下がる。	1.黒褐色土 2.黒色土 下に旧住居址あり。	Rこ-9
H19	3.6×3.9×0.36	N-7°-W	北	方形	主 2(?) 出入口 1	堅く締まる。 床下周縁部だけ下がる。	1.黒褐色土 2.黒色土 床下で中央にピットあり。	Rか-8
H20	3.8×4.0×0.2	N-7°-E	北	(隅丸) 方形	主 4(?) 出入口 4 (?)	堅く締まる。	1.黒褐色土 2.黒色土 灰落しピット、土坑あり。	Zお-3
H21	3.0×-×0.2	N-18°-E	北	方形(?)	主 4(?)	締まりなし。	1.黒褐色土 M8に切られて半分残る。	Zお-5
H22	2.7×3.6×0.18	N-0°	北	長方形	主 2 小ピット 5	堅く締まる	1.黒褐色土 南東に幾十範囲あり。	Rく-6
H23	7.8×6.0×0.18	N-15°-E	南東	隅丸長方形	主 4 小ピットあり	締まりなし。	1.黒色土 2.黒褐色土 床下土坑あり。	Rけ-6
H24	3.2×3.5×0.2	N-0°	北	方形	主 4 小ピットあり	堅く締まる	1.黒褐色土 土坑あり。 カマド2回構築。	Rえ-7
H25	4.8×4.7×2.0	N-82°-E	東	不整方形	主 4	堅く締まる。 床下から多くの柱穴出る。	1.黒褐色土 土坑あり。	Rえ-5
H26	-×3.6×0.12	N-5°-W	なし	-	主 2	締まりなし。	1.黒褐色土 2.黒褐色土 H25住に切られて半分ない。	Rえ-4
H27	5.3×(5.0)×0.32	N-0°	北	方形	主 4 出入口 2 他 あり	堅く締まる。 床下周縁部が下がる。	1.黒褐色土 下に旧住居址と掘立柱建物址あり。	Rい-5
H28	4.3×4.7×0.12	N-27°-W	北	方形	主 4	堅く締まる。 床下東壁下が下がる。	1.黒褐色土 掘乱葬南北ある。	Rか-4
H29	-×-×-	N-44°-W(?)	北	-	主 4	削平されてない。	削平されてない。	Rあ-1
H30	-×5.6×-	N-40°-W	北	-	主 4	削平されてない。	削平されてない。	Kこ-10
H31	5.5×5.3×0.36	N-15°-W	北	-	主 4 出入口 1 他 ↓	堅く締まる。 床下周縁部が下がる。	1.黒色土 2.暗褐色土 3.黒色土 4.黒褐色土 土坑あり。遺物多い。	Qけ-1
H32	2.8×4.5×-	N-0°	北	隅丸長方形	主 4 他 2	削平されてない。	削平されてない。	Kく-6
H33	3.4×4.8×0.2	N-6°-W	なし	不整隅丸長方形	主 4	締まりなし。	1.黒褐色土 粘土あり。	Kこ-9
H34	5.6×5.7×0.5	N-15°-W	北	方形	主 4,副 1 出入口 3 他 2	堅く締まる。 床下東壁下だけ下がる。	1.黒褐色土 2.黒褐色土 灰落しピット2ヶあり。	Kこ-9

上久保田向遺跡III地区掘立柱建物址一覧表

No	間数	様式	掘行き× 掘行き(m)	本数	ピット規模 (cm)	ピット形	主軸方位	覆土	備考
F18	2×2	竪柱	4.6×3.2	9	80×40×22-30	長楕円形	N-93°-W	1.黒褐色土 2.黒色土 3.黒褐色土 4.暗褐色土	Rえ-7 H24柱と重なる。
F19	2×1	倒柱 (溝持ち)	3.5×2.6	6	52-90×52 ×36-72	円形 楕円形	N-18°-W	1.黒褐色土 他 5層あり。	Rえ-6
F20	2×2	倒柱	4.4×4.0	7 (1)	60-70×40-44 ×29-35	円形 楕円形	N-9°-W	1.黒褐色土 2.暗褐色土 3.褐色土	Rえ-6 H25柱と重なる。
F21	2×1	倒柱	4.6×2.5	5 (1)	60-84×36-50 ×24-30	円形 楕円形	N-1°-W	1.黒褐色土 2.暗褐色土 3.暗褐色土	Rく-7 H22-23柱と重なる。
F22	2×2	倒柱	4.7×3.6	6 (2)	60×46×14-52	円形 楕円形	N-93°-W	1.黒褐色土 2.黒褐色土 3.黄褐色土	Rか-8 H19と重なる。
F23	3×2	竪柱	4.0×2.8	9	32-48×- ×44-52	円形	N-5°-E	1.黒褐色土 2.黒褐色土	Rく-5 F23を切る。
F24	3×2	竪柱 (溝持ち)	3.6×2.8	9	?	円形	N-2°-E	9層あり	Rく-5 他にも柱穴あり。
F25	3×2	倒柱	4.4×3.4	10	30-42×- ×28-40	円形	N-104°-W	1.黒褐色土 2.他 3層あり	Rあ-3 H28・M8と重なる。
F26	2×2	倒柱	4.4×3.6	5 (3)	36×-×20-30 68×40×56	円形 楕円形	N-115°-W	1-2黒黒褐色土	Kこ-10 H34と重なる。
F27	3×2	倒柱 (溝持ち)	4.8×3.7	10	300-340×48- 60×20-48	楕円形	N-2°-W	1.黒褐色土 他 4層あり	Rお-か-3 F28と重なる。
F28	3×2	倒柱	4.9×4.0	10	50×-×20-30	円形	N-5°-W	1.黒褐色土 2-3暗褐色土	Rお-か-3 F27と重なる。
F29	3×2	倒柱	4.4×3.6	9 (1)	46-76×34-56 ×16-30	楕円形	N-2°-W	1.暗褐色土 2.黒褐色土 他 2層あり	Rお-か-3 F27・F28と重なる。
F30	3×1	倒柱	3.6×2.3	8	34-50×24-44 ×30	円形	N-95°-E		Rあ-5 H27床下にあり。
F31	3×2	倒柱 (溝持ち)	4.2×4.0	10	206-252×60 ~72×28-64	円形 隅丸方形	N-0°	1.黒褐色土 他 4層あり	Rえ-3 F32と重なる。
F32	3×2	倒柱 (溝持ち)	4.4×3.8	10	64-86×40-60 ×18-33	楕円形	N-0°	1.黒褐色土 他 4層あり	Rえ-2 F31と重なる。
F33	2×1	倒柱	3.4×3.3	6	42×-×6.5-13	円形	N-9°-W	1.暗褐色土 2.黒褐色土	Rえ-3
F34	1×1	倒柱	2.8×2.4	4	30×-×22-30	円形	N-40°-E	1.黒褐色土 2.暗褐色土	Rう-4 H25と重なる。
F35	1×1	倒柱 (溝持ち)	2.5×2.4	6	272-280× 50-70×36-62	円形	N-17°-W	1.黒褐色土 他 4層あり	Lあ-8
F36	1×1	倒柱	2.0×1.8	4	66-90×- ×28-50	円形	N-17°-W	1.黒褐色土 他 6層あり	Kけ-6
F37	3×2	倒柱 (溝持ち)	4.5×4.0	8 (2)	180×50×49-55 50-68×-×39-71	隅丸 方形	N-13°-W	1.黒褐色土 他 5層あり	Kく-3 北東区域外
F38	2×1	倒柱	3.2×3.2	6	40×-×12-27	円形	N-15°-W	1-2黒褐色土	Kく-8 H32と重なる。

上久保田向遺跡III地区ピット一覧表

No.	出土位置	規模 長径×短径×深さ(m)	平面形	覆土・他
P 1	R け-5	56×52×35	隅丸三角形	1. 10Y R2/2砂質
P 2	R お-6	30×29×195	円形	1. 10Y R2/3砂質、含有物なし。
P 3	R え-7	26×27×6	円形	
P 4	R え-6	26×26×7.5	円形	
P 5	R う-6	35×28×7.5	楕円形	
P 6	R う-6	26×20×13	楕円形	1. 10Y R2/3ベミス含む。
P 7	R う-6	52×28×16.5	隅丸長方形	1. 10Y R2/3ベミス多く含む。
P 8	R え-6	40×39×18	楕円形	1. 10Y R3/3ベミス含む。2. 10Y R4/4ローム含む。
P 9	R う-4	44×28×17.5	楕円形	1. 10Y R3/3ベミス含む。2. 10Y R4/4ローム含む。
P10	R う-4	42×36×12	隅丸方形	
P11	R え-4	62×38×25	隅丸長方形	1. 10Y R3/3ローム、ベミス含む。
P12	R お-3	56×25×10.5	隅丸長方形	10Y R2/3ロームブロック黒色土ブロック含む。
P13	R お-3	46×40×28	隅丸方形	1. 10Y R2/3ベミス粒を含む。2. 10Y R5/61層ブロック混。
P14	R お-3	46×40×15	方形 (不整)	P13と同じ。
P15	S あ-7	87×60×29.5	楕円形	1. 10Y R2/3砂質。2. 黒色土含む黒色泥。
P16	S あ-7	72×60.5×37	隅丸方形 (不整)	1. 10Y R2/3砂質。2. 黒色土含む黒色泥。
P17	S い-7	80×66×40.5	隅丸長方形	1. 10Y R2/3砂質。2. 黒色土含む黒色泥。
P18	S い-8	56×55×54.5	円形	1. 10Y R2/3砂質。2. 10Y R2/3砂質。細かいベミス含む。3. 75Y R3/2砂質、フカフカ、少量の灰を含む。3. 10Y R2/2黒色土+ロームブロック含む。
P19	S あ-9	90×84×50	楕円形	1. 10Y R2/3ベミス粒多い。2. 10Y R3/2。
P20	S あ-9	86×80×51	隅丸三角形	
P21	S あ-9	108×72×35	楕円形	1. 10Y R2/3砂質。黒色土ブロック含む。2. 10Y R3/3
P22	S あ-10	76×72×21.5	楕円形	1. 10Y R2/3細かいブロック黒色土ブロックをわずかに含む。粘性有り。
P23	R け-9	96×95×29.5	楕円形	1. 10Y R3/2ベミス少量、黒色土ブロック含む、サラサラ。
P24	R こ-9	122×68×34.5	楕円形	1. 10Y R2/3細かい砂質土。2. 10Y R2/3黒色土を含む。
P25	R け-8	86×90×49	隅丸方形	1. 10Y R2/3やや砂質。2. 10Y R2/3 3. 10Y R4/6ロームに黒色含む。
P26	R け-8	33×33×13.5	円形	1. 10Y R2/3 2. 10Y R2/2
P27	S あ-7	33×30×16.5	円形	1. 10Y R2/3の砂質。
P28	S あ-7	28×24×21	楕円形	1. 10Y R2/3の砂質。
P29	S あ-7	32×31×45	円形	1. 10Y R2/3の砂質。
P30	R え-8	64×62×55	円形	1. 10Y R2/2わずかにベミス粒含む。2. 10Y R2/3ローム粒多く含む。
P31	R え-9	72×64×24	隅丸方形	1. 10Y R3/3ロームブロック多く黒色土ブロック混。土師器杯出土。
P32	R え-9	61×48×21.5	楕円形	1. 10Y R2/3ベミス粒含む。2. 10Y R4/3ローム粒子多い。 3. 10Y R5/6ローム。
P33	R あ-2	46×33×41	楕円形	1. 10Y R2/2しまりなし。
P34	R あ-2	48×37×28	楕円形	1. 10Y R2/3の砂をとところどころに含む。

上久保田向遺跡III地区土器一覧表

H18号住居址

№	種類	口径	高さ	器形	特徴	備考
1	ハ 杯	-	3.3	4.4	高台付杯	内面は磨面コッタダ、底面は輪軸形高台筋有り付付。 底面は褐色、色調はY 5.5/4/1褐色。 胎土黄、砂粒少量含む。
2	ハ 杯	21	21.2	-	口縁部「ハ」字	内面は磨面コッタダ、胴部ヘラツダ。 外側は粗面コッタダ、胴部ヘラツダ。 底面はY 5.5/4/1褐色。 胎土黄、内面砂粒少量含む。
3	ハ 杯	11	6.4	-	口縁部「ハ」字	内面は磨面コッタダ、胴部ヘラツダ。 外側は粗面コッタダ、胴部ヘラツダ。 底面はY 5.5/4/1褐色。 胎土黄、内面砂粒少量含む。
4	ハ 杯	21.4	5.9	-	口縁部「コ」字	内面は磨面コッタダ、底面は磨面、胴部ヘラツダ。 外側は粗面コッタダ、胴部ヘラツダ。 底面はY 5.5/4/1褐色。 胎土黄、0.5mm砂粒少量含む。
5	ハ 杯	21.6	6.1	-	口縁部「コ」字	内面は磨面コッタダ、胴部ヘラツダ。 外側は粗面コッタダ、胴部ヘラツダ。 底面はY 5.5/4/1褐色。 胎土黄、内面砂粒少量含む。
6	ハ 杯	-	5.8	4.8	底面が大きい。	内面は磨面、外側は粗面、胴部ヘラツダ。 底面はY 5.5/4/1褐色。 胎土黄、石末、白色砂粒、砂粒少量含む。
7	ハ 杯	-	7.4	4.8	底面が大きい。	内面は磨面、外側は粗面、胴部ヘラツダ。 底面はY 5.5/4/1褐色。 胎土黄、石末、砂粒少量含む。

H19号住居址

1	ス 土	11.8	3.0	つとみ 3.4	高台付つとみ。	コッタダ製ナダ、底面は輪軸形高台筋有り付付。 つとみは、灰青褐色。
2	ス 土	14.6	4	(0)	散瓦。	コッタダ製ナダ、底面は輪軸形有り。 片割、色調はY 6/11褐色。 砂粒含む。
2	ス 土	(15)	4.2	(0)	散瓦。	コッタダ製ナダ、底面は輪軸形有り。 片割、色調はY 6/11褐色。 胎土黄、 また1-3mm程度の砂粒含む。 胎土黄、石末、白色砂粒、 1mm程度の砂粒少量含む。
4	ス 土	-	1.8	(6.4)	散瓦。	コッタダ製ナダ、底面は輪軸形有り。 胎土黄、Y 6/11褐色。 胎土黄、石末、白色砂粒、 1mm程度の砂粒少量含む。
5	ス 土	-	5.6	-	口縁部コッタダ。 底面は自然磨面がかかっている。 内面は磨面Y 5/9褐色。	コッタダ製ナダ。 底面は自然磨面がかかっている。 内面は磨面Y 5/9褐色。
6	ス 土	-	13.9	-	コッタダ製ナダ。 底面は自然磨面がかかっている。 内面は磨面Y 4/10褐色。	コッタダ製ナダ。 底面は自然磨面がかかっている。 内面は磨面Y 4/10褐色。
7	ハ 小皿	(11)	9.3	-	口縁部やかな「コ」の下。 内面は磨面コッタダ、胴部ヘラツダ。 外側は粗面Y 5.5/4/1褐色。	口縁部やかな、色調はY 5.5/4/1褐色。 胎土黄、石末、白色砂粒、 0.5mm程度の砂粒少量含む。
8	ハ 小皿	(10.2)	6.1	-	口縁部やかな「コ」の下。 内面は磨面コッタダ、胴部ヘラツダ。 外側は粗面コッタダ、胴部ヘラツダ。	口縁部やかな、色調はY 5.5/4/1褐色。 胎土黄、石末、白色砂粒、 砂粒少量含む。

H20号住居址

1	ス 土	14.2	7.2	4.7	コッタダ製ナダ、底面は輪軸形有り、高台筋有り付付。 高台筋、磨面している。	底面は褐色、色調はY 6/11褐色。 胎土黄、0.5-1mm程度の砂粒少量含む。 胎土黄、石末、白色砂粒、 1mm程度の砂粒少量含む。
2	ス 土	(7.4)	2.5	-	コッタダ製ナダ、底面は輪軸形有り、高台筋有り付付。	底面は褐色、色調はY 6/11褐色。 胎土黄。
3	ス 土	(12.6)	3.2	-	コッタダ製ナダ。 底面は自然磨面がかかっている。	口縁部Y 6/11褐色。 色調はY 5.7/7褐色。 胎土黄。
4	ス 土	(13.8)	3.5	-	コッタダ製ナダ。	口縁部Y 6/11褐色。 色調はY 5.7/7褐色。 胎土黄。
5	ハ 杯	(11.6)	5.4	3.3	口縁部磨面外反気味。 内面は磨面コッタダ。 外側は粗面コッタダ、胴部ヘラツダ。 底面はY 5.5/4/1褐色。	底面は褐色、色調はY 5.5/4/1褐色。 胎土黄、石末、白色砂粒、砂粒少量含む。
6	ハ 杯	-	2.3	0.8	コッタダ製ナダ、底面は輪軸形有り。 内面は磨面コッタダ。	底面は褐色、色調はY 5.5/4/1褐色。 胎土黄、内面砂粒少量含む。
7	ハ 杯	(15.2)	3.5	-	口縁部磨面の外縁をくする。 内面は磨面コッタダ。 外側は粗面コッタダ。	口縁部磨面。 底面は自然磨面。 胎土黄、内面砂粒少量含む。
8	ハ 杯	-	1.7	-	高台付杯。 内面は磨面コッタダ、底面は輪軸形有り高台筋有り付付。	底面は褐色、色調はY 6/11褐色。 胎土黄、白色砂粒、砂粒少量含む。

H21号住居址

1	ス 土	-	1.5	(0)	散瓦	コッタダ製ナダ、底面は輪軸形有り。 底面はY 6/11褐色。
2	ハ 杯	10.4	6.6	-	口縁部やかな「コ」字、 口縁部は内側す。	口縁部やかな、色調はY 6/11褐色。 胎土黄、石末、白色砂粒、 砂粒少量含む。
3	ハ 杯	-	-	-	胎土黄、石末、白色砂粒、 胎土黄。	胎土黄、石末、白色砂粒、 胎土黄。

H22号住居址

1	ス 土	12	7.2	4.2	散瓦	コッタダ製ナダ、底面は輪軸形有り。 色調はY 5.7/7褐色。
2	ス 土	13.6	3.5	-	散瓦	コッタダ製ナダ。 胎土黄、内面砂粒少量含む。
3	ス 土	(13.4)	4.4	(6.2)	散瓦	コッタダ製ナダ、底面は輪軸形有り。 色調はY 5.7/7褐色。
4	ハ 杯	(13.6)	(7.2)	4	高台。	内面は磨面、底面は磨面、 外側は粗面コッタダ。
5	ハ 杯	(11.3)	3.5	5.8	高台。	内面は磨面、底面は磨面、 外側は粗面コッタダ。
6	ハ 杯	(12.8)	4	7	高台。	内面は磨面、底面は磨面、 外側は粗面コッタダ、底面は輪軸形有り、色調はY 5.5/4/1褐色。
7	ハ 杯	-	2.2	8	高台。	底面は褐色、色調はY 6/11褐色。 胎土黄、白色砂粒、石末、砂粒少量含む。

No.	名称	形状			形状の特殊	調 色	備 考
		寸法	面積	位置			
29	ハ 小 口	12.4	6.5	-	反りが付く。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。 調色→Y 3/5/黒色。調色。
30	ハ 小 高	-	12.0	-		※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。 ※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	調色→Y 3/5/黒色。調色。 調色→Y 3/5/黒色。調色。
31	ハ 小 丸	17.6	16.1	-		※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
32	ハ 小 丸	-	14.3	-	両面に反りが付く。4ヶ所につまみが付く。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
33	ハ 小 丸	17.6	21.3	-	内面反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
34	ハ 小 丸	20	20.2	-	内面反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
35	ハ 小 丸	20	18.1	-	内面反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
36	ハ 小 丸	20.6	7	-	内面反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
37	ハ 小 丸	20	20.9	-	内面反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
38	ハ 小 丸	22.4	18.5	-	内面反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
39	ハ 小 丸	-	18	2.8	調子調整がなされた。小さな突起がある。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
40	ハ 小 丸	-	19.4	4	両面に反りが付く。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
41	ハ 小 丸	33.8	4.1	-	両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
42	ハ 小 丸	33.2	3.5	-	両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
43	ハ 小 丸	11.4	5.1	-	両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
44	ハ 小 丸	12.6	9.5	-	両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
45	ハ 小 丸	-	2.4	(7)	両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
46	ハ 小 丸	-	4.4	7.8	両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
47	ハ 小 丸	-	3.2	(10)	両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	※フタ型アブ。 内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。

H33号住居

1	ハ 小 丸	72.8	5.2	0.80		※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
2	ハ 小 丸	-	3.4	7.2		※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
3	ハ 小 丸	-	3.2	6.2	取皿。	※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
4	ハ 小 丸	-	2	0.21	*	※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
5	ハ 小 丸	-	1.8	0.43	*	※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
6	ハ 小 丸	-	0	0.63		※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
7	ハ 小 丸	(10)	3.9	(6)		※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
8	ハ 小 丸	-	2.1	0.83		※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。

H34住居

1	ハ 小 丸	14.8	2.2	7.4	取皿。	※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
2	ハ 小 丸	(10)	4	6.3	*	※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
3	ハ 小 丸	14.4	4.4	6	*	※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
4	ハ 小 丸	12.5	4.2	6	*	※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
5	ハ 小 丸	14.4	4.4	6	*	※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
6	ハ 小 丸	14	4.3	6.7	*	※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
7	ハ 小 丸	15.6	8.7	-		※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。
8	ハ 小 丸	-	1.9	7.8		※フタ型アブ。両面に反りが付く。内面→Y 3/5/黒色。調色。	白黒1/2。 色調→Y 3/5/黒色。調色。

No.	標高	法線		図存の種類	測 量	備 考
		方位	距離			
9	大 丸 園	120.33	11	-	メソメ園ナブ。	ロー製鋼材製。 色調N/a/灰色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
10	大 丸 園	-	6	15.2	メソメ園ナブ。 外周直線有り。 色調内周はS/R/灰色。	高層の建物。 色調S/R/4/オリーブ色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
11	ハコ 園	111.22	64.13	5.4	メソメ園ナブ。直線・折線・ヘラナズナ。 内周丁字型・L字直線構造。 色調S/R/2/灰色。	高層の建物。 色調S/R/4/濃い緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
12	ハコ 園	11.4	4.8	5.6	メソメ園ナブ。直線・折線有り。 内周L字直線構造。	高層の建物。 色調S/R/2/黒。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
13	ハコ 園	15.2	1.5	-	真台付 メソメ園ナブ。 内周L字直線構造。	L字構造。 色調S/R/6/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
14	ハコ 園	21	69.90	9.4	メソメ園ナブ。	L字構造。 色調S/R/4/濃い緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
15	ハコ 園	10.6	26	-	メソメ園ナブ。折線・ヘラナズナ。 内周L字直線構造。	L字構造。 色調S/R/4/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
16	ハコ 園	-	12	3.2	内周ナブ。 外周直線・ヘラナズナ。 車道中心に直線有り。	高層の建物。 色調S/R/4/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
17	ハコ 園	-	7.3	5.6	内周ナブ。 直線・ヘラナズナ。	高層の建物。 色調S/R/4/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
18	ハコ 園	-	2.4	6	内周ナブ。 外周直線・ヘラナズナ。 色調内周はS/R/4/濃い緑色。	高層の建物。 色調S/R/4/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
19	ハコ 園	-	1.7	5.6	内周ナブ。 外周直線・ヘラナズナ。 車道中心に直線有り。	高層の建物。 色調S/R/6/濃い緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
20	ハコ 園	-	3.3	4.8	内周ナブ。 外周ヘラナズナ。直線・折線。	高層の建物。 色調S/R/6/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
21	ハコ 園	-	2.5	3.6	内周ナブ。 外周ヘラナズナ。直線・ヘラナズナ。 色調内周はS/R/2/灰色。	高層の建物。 色調S/R/4/濃い緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
22	ハコ 園	20.4	9	-	口縁部印「コ」の字 内周ナブ。 外周L字直線ナブ。折線・ヘラナズナ 直線・折線有り。	L字構造。 色調S/R/4/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
23	ハコ 園	17.2	5.6	-	口縁部印「コ」の字 メソメ園ナブ。 地上直線・ヘラナズナ。	L字構造。 色調S/R/4/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
24	ハコ 園	20.2	12	-	口縁部印「コ」の字 内周ナブ。 口縁部ナブ。折線・折線のヘラナズナ。	L字構造。 色調S/R/4/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
25	ハコ 園	20.6	10.3	-	口縁部印「コ」の字 内周ナブ。 外周ナブ。折線・ヘラナズナ。	L字構造。 色調S/R/4/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
26	ハコ 園	19.8	10	-	口縁部印「コ」の字 内周L字直線ナブ。折線・ヘラナズナ。 内周直線有り。	L字構造。 色調S/R/4/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
27	ハコ 園	19.6	4.3	-	口縁部印「コ」の字 内周ナブ。 外周ナブ。	L字構造。 色調S/R/4/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
28	ハコ 園	20.6	6.3	-	口縁部印「コ」の字 内周ナブ。 外周ナブ。折線・ヘラナズナ。	L字構造。 色調S/R/4/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。
29	ハコ 園	20.8	6.3	-	口縁部印「コ」の字 内周L字直線ナブ。 外周L字直線ナブ。折線・ヘラナズナ。	L字構造。 色調S/R/4/暗緑色。 地上まわりの樹い・樹影を含む。



上久保田向遺跡Ⅲ地区航空写真 (朝日航洋社)



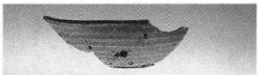
H18,8-1



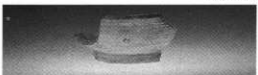
H18,8-2



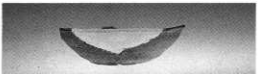
H19,11-2



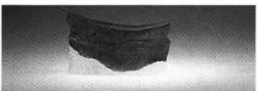
H19,11-3



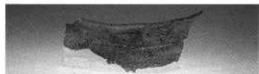
H20,14-1



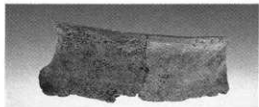
H20,14-5



H21,17-2



H18,8-3



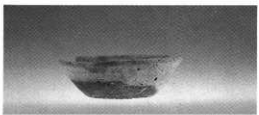
H18,8-4



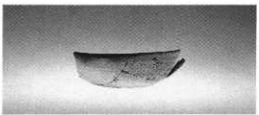
H18,8-5



H18,8-7



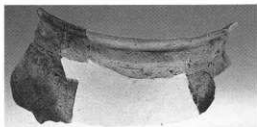
H22,20-1



H22,20-5



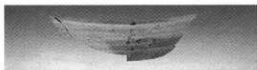
H22,20-6



H22, 20-9



H22, 20-10



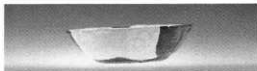
H27, 33-1



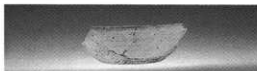
H27, 33-11



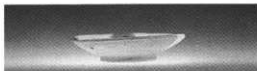
H27, 33-13



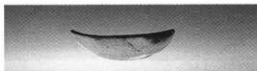
H24, 26-1



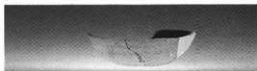
H24, 26-2



H25, 29-1



H25, 29-2



H25, 29-9



H27, 33-14



H27, 33-15



H31,40-1



H31,40-2



H31,40-12



H31,40-22



H31,40-24



H31,40-25



H31,40-26



H31,40-21



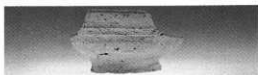
H31,41-37



H31,41-35



H31,40-31



H34,48-1



H34,48-2



H34,48-7



H34,48-9



H34,48-11



H34,48-12



H34,49-2



H34,48-15



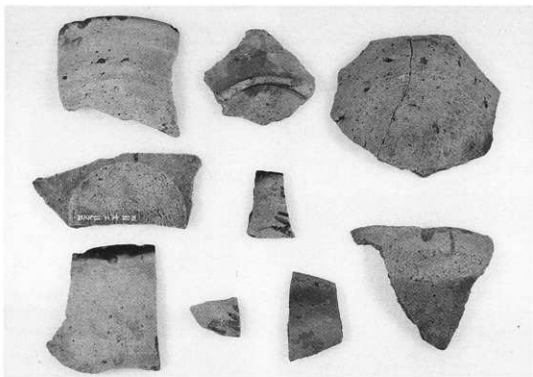
H34,49-22



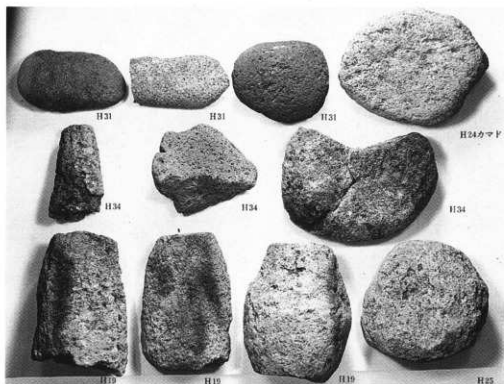
H34,49-26



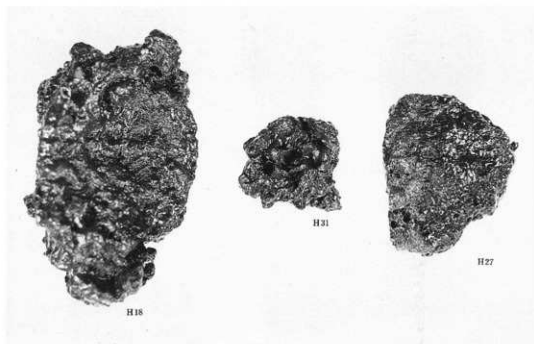
H31,41-34



BKKIII 黒青土器(左側上H22, 下H21の他はH34より出土)



石製品



鉄輝



多くの皆様の御協力で調査ができました。ありがとうございました。

佐久市埋蔵文化財調査報告書	第1集	『金井城跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第2集	『市内遺跡発掘調査報告書1990』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第3集	『石階築址群III』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第4集	『大ふけ遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第5集	『立科下遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第6集	『上曾根遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第7集	『三貫知遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第8集	『籠の下遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第9集	『国道141号線関係遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第10集	『龍原遺跡II』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第11集	『赤座垣外遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第12集	『若宮遺跡II』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第13集	『上高山遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第14集	『栗毛坂遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第15集	『野馬久保遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第16集	『石並城跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第17集	『市内遺跡1991』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第18集	『西曾根遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第19集	『上芝宮遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第20集	『下龍崎遺跡III』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第21集	『金井城跡III』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第22集	『市内遺跡発掘調査報告書1991』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第23集	『南上中原・南下中原遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第24集	『上聖崎遺跡』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第25集	『上久保田向IV』
佐久市埋蔵文化財調査報告書	第26集	『藤塚古墳群・藤塚II』

長野県佐久市

佐久市埋蔵文化財調査報告書第27集

枇杷坂遺跡群

上久保田向遺跡III発掘調査報告書

1994年3月

編集・発行 佐久市教育委員会
印刷所 輪佐久印刷所
